

す べ り 台 定 期 点 検 表 (例)

(写真No.)

管理番号

製品名	すべり台		所在 施設名			住所		
点検社						点検日		
点検者						確認者		
製造社			S P 表示シール	有 ・ 無		製品番号		
設置年月			経過年月	年	月	落下高さ	mm	
構造部材 1			構造部材 2			消耗部材		
対象年齢シール	有 ・ 無		対象年齢	1歳～3歳 ・ 3歳～6歳 ・ 3歳～12歳 ・ 6歳～12歳 ・ 大人				
Ⅰ. 機能に関する総合判定					Ⅱ. 塗装に関する総合判定			
使用継続		A : B : ハザードレベルと劣化レベルの組み合わせにより4段階 C : で表す D :			A : B : 3段階で表す C :			
可・不可								
ハ ザ ー ド	0 : 1 : 4段階で表す 2 : 3 :				劣 化	a : b : 4段階で表す c : d :		
特 記 事 項								

【安全領域】

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
滑り降り口方向は、2,000mm以上、全領域重複不可	メジャー	2 合 ・ 否		
その他方向、落下高さ600mmを超える時、1,800mm以上。半分領域重複可	メジャー	2 合 ・ 否		
上部空間、落下高さ600mm以下（1,500mm）600mm超え（1,800mm）	メジャー	1 合 ・ 否		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合 ・ 否		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合 ・ 否		

【規準一般規定】 劣化点検のみの場合でも、劣化に伴う規準不適合項目がある場合は特記事項等で報告すること。

①頭部・胴体の挟み込み

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
頭部・胴体の挟み込み（100～230mm）	器具 A・B	2 合 ・ 否		
ハザードレベル 3 に該当する箇所がないこと	器具 A・B	3 合 ・ 否		

②頭部または首の挟み込み

頭部または首の挟み込み（V字型開口部）	器具 A・B	3 合 ・ 否		
---------------------	--------	---------	--	--

③指の挟み込み

指の挟み込み（φ8～25mm）	器具 E	2 合 ・ 否		
-----------------	------	---------	--	--

④絡まり・引っ掛かり

絡まり・引っ掛かり（突出部や隙間）	目視	2 合 ・ 否		
-------------------	----	---------	--	--

⑤衝突・転倒

衝突・転倒（突出部や段差）	目視	1 合 ・ 否		
衝突・転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合 ・ 否		

⑥ボルトナット類による突起

引っ掛かり防止対策	目視	1 合 ・ 否		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合 ・ 否		

⑦鋭利な尖端・角・縁

鋭利な尖端・角・縁	目視・触診	1 合 ・ 否		
-----------	-------	---------	--	--

⑧転落・落下

点 検 項 目	点検器具	判定		写真No.	備 考
落下防止柵 700mm以上（踊場高さ2,000mm以下）	メジャー	2	合 ・ 否		
手すり子の形状	目視	2	合 ・ 否		
手すり子のスキマ（100mm未満）	器具B	2	合 ・ 否		

⑨階段・はしご（共通）

傾斜（90°）横棒はしご（75°）踏板はしご（50°）階段（15°）	傾斜計				
落下高さ（幼児用）2,000mm以下（児童用）3,000mm以下	メジャー	2	合 ・ 否		
段差間には頭部・胴体の挟み込みがない	器具A・B	2	合 ・ 否		
手すり子には頭部・胴体の挟み込みがない	器具A・B	2	合 ・ 否		

⑨踏み板はしご

奥行（幼児用）170mm以上（児童用）170mm以上（板有）	メジャー	1	合 ・ 否		
踏み板の長さ（幼児用）300mm以上（児童用）400mm以上	メジャー	1	合 ・ 否		
段差（幼児用）220mm以下（児童用）305mm以下	メジャー	2	合 ・ 否		
手すり高さ（幼児用）500～800mm（児童用）500～800mm	メジャー	1	合 ・ 否		

⑩救助対策

救助対策	目視	1	合 ・ 否		
------	----	---	-------	--	--

⑪基礎の設計

基礎の設計（基礎の天端 土かぶり100mm以上）	メジャー	1	合 ・ 否		
基礎の露出がないこと	目視	2	合 ・ 否		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具A	3	合 ・ 否		

【規準一般規定】

落下高さは、児童用では3,000mm以下	メジャー	3	合 ・ 否		
----------------------	------	---	-------	--	--

【劣化】

登行部

点 検 項 目	点検器具	判定	写真No.	備 考
腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d		
腐食がないか（ササラ・手すり）	目視・打診	a・b・c・d		
腐食・摩耗がないか（踏板）	目視・打診	a・b・c・d		
ぐらつきがないか	揺診	a・b・c・d		
破損など（破損0ヶ所）	目視	a・b・c・d		

出発部

腐食・摩耗がないか（床板）	目視・打診	a・b・c・d		
腐食がないか（手すり）	目視・打診	a・b・c・d		
ぐらつきがないか	揺診	a・b・c・d		
破損など（破損0ヶ所）	目視	a・b・c・d		

支柱部

腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d		
腐食がないか（地際部附近以外）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d		
ぐらつきがないか	揺診	a・b・c・d		
破損など（破損0ヶ所）	目視	a・b・c・d		

滑降部

腐食がないか（地際部附近）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d		
腐食がないか（滑降面・側面）（全数点検）	目視・打診	a・b・c・d		
摩耗がないか（滑降面・側面）	目視	a・b・c・d		
破損など（破損0ヶ所）	目視	a・b・c・d		

基礎部・着地面部

ぐらつきがないか（全数点検）	揺診	a・b・c・d		
衝撃吸収材などの破損（破損0ヶ所）	目視	a・b・c・d		

【規準】

出発部

点 検 項 目	点検器具	判定		写真No.	備 考
滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の水平部がある	メジャー	1	合 ・ 否		
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間のないこと	目視	3	合 ・ 否		
着座姿勢に導くガイドバーを設ける（落下高さ＞600の時）	目視	2	合 ・ 否		

滑降部

安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2	合 ・ 否		
傾斜角度は45°（60°）以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2	合 ・ 否		

滑降面

安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2	合 ・ 否		
利用による摩耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1	合 ・ 否		
有効幅は、幼児用300mm以上、児童用360mm以上	器具C	1	合 ・ 否		

側壁

落下高さ＞1,500mm、側壁の高さは150mm以上	器具C	2	合 ・ 否		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物などがないこと	触診	2	合 ・ 否		

減速部

減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2	合 ・ 否		
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2	合 ・ 否		
傾斜変化部の曲率半径は、R = 750mm以上とする	器具C	1	合 ・ 否		
着地面から終端上端部までの高さは児童用150～380mm	メジャー	1	合 ・ 否		